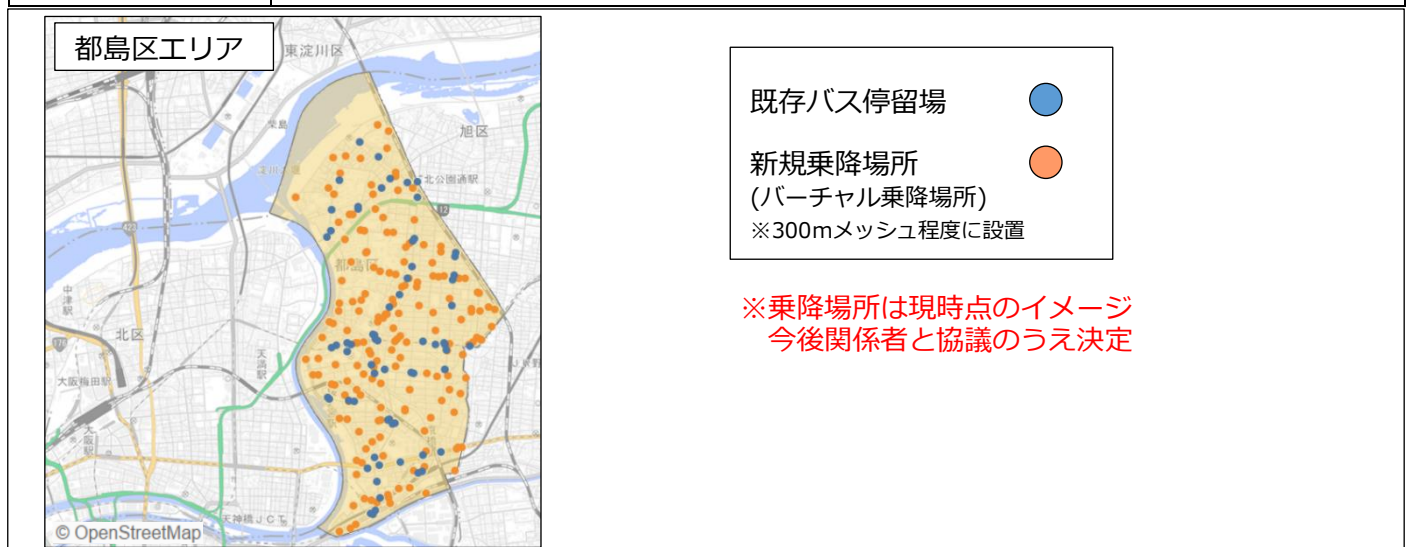


提案概要（公表用）

提案日：令和7年3月18日

提案事業者	Osaka Metro Group
運行目的	地域を担う公共交通の持続可能性を高めるため、利用者ニーズに対応したよりきめ細かで効率的な交通手段を提供することで、地域の交通課題の解消や利便性を向上するとともに、新規需要を創出する
運行区域	都島区内全域
運行態様	区域運行（道路運送法施行規則第3条の3）
運行形態	予約のある停留所間を効率的に運行
使用システム	A I オンデマンド配車システム
運行時間帯	9時～19時（検討中）
予約受付方法	スマートフォンアプリ、公式サイトまたは電話
使用車両・乗車定員	① EV ワンボックス車両（車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 8 名） ② ワンボックス車両（通常車両 運転席・助手席除き乗車定員 8 名） ③ 小型 EV バス車両（ノンステップ 車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 13～28 名程度） ④ ワンボックス車両（車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 5 名）
車両台数	最大 7 台（①～④）
運賃	大人：210 円 小児：110 円 幼児：同伴者 1 名につき 2 名まで無料 （身体障がい者手帳・療育手帳の「旅客鉄道株式会社旅客運賃減額欄」の記載（第 1 種または第 2 種）により、運賃を割引） （精神障がい者保健福祉手帳（1 級または 2 級・3 級（本人が小児の場合に限る））により運賃を割引） オンデマンドバス デジタル定期 大人 5,000 円/月・エリア、9,000 円/月・2 エリア共通 ※他のモビリティと連携した割引制度・サブスクの導入を検討
運送事業者（予定）	OM タクシー株式会社、他バス・タクシー事業者（未定）
社会実験開始希望時期	令和 7 年 10 月以降開始希望 実験期間は 1 年間
障がいのある方や車いす利用者に対する考え方	・運行エリアに可能な限り車いす対応車両を配置（1 台以上）し、車いすでのご乗車に対応 ・精神障がい者保健福祉手帳により運賃割引を適用



提案概要（公表用）

提案日：令和7年3月18日

提案事業者	Osaka Metro Group
運行目的	地域を担う公共交通の持続可能性を高めるため、利用者ニーズに対応したよりきめ細かで効率的な交通手段を提供することで、地域の交通課題の解消や利便性を向上するとともに、新規需要を創出する
運行区域	此花区内全域
運行態様	区域運行（道路運送法施行規則第3条の3）
運行形態	予約のある停留所間を効率的に運行
使用システム	AI オンデマンド配車システム
運行時間帯	9時～19時（検討中）
予約受付方法	スマートフォンアプリ、公式サイトまたは電話
使用車両・乗車定員	① EV ワンボックス車両（車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 8 名） ② ワンボックス車両（通常車両 運転席・助手席除き乗車定員 8 名） ③ 小型 EV バス車両（ノンステップ 車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 13～28 名程度） ④ ワンボックス車両（車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 5 名）
車両台数	最大 6 台（①～④）
運賃	大人：210 円 小児：110 円 幼児：同伴者 1 名につき 2 名まで無料 （身体障がい者手帳・療育手帳の「旅客鉄道株式会社旅客運賃減額欄」の記載（第 1 種または第 2 種）により、運賃を割引） （精神障がい者保健福祉手帳（1 級または 2 級・3 級（本人が小児の場合に限る））により運賃を割引） オンデマンドバス デジタル定期 大人 5,000 円/月・エリア、9,000 円/月・2 エリア共通 ※他のモビリティと連携した割引制度・サブスクの導入を検討
運送事業者（予定）	OM タクシー株式会社、他バス・タクシー事業者（未定）
社会実験開始希望時期	令和 8 年 3 月以降開始希望 実験期間は 1 年間
障がいのある方や車いす利用者に対する考え方	・運行エリアに可能な限り車いす対応車両を配置（1 台以上）し、車いすでのご乗車に対応 ・精神障がい者保健福祉手帳により運賃割引を適用



既存バス停留場



新規乗降場所



(バーチャル乗降場所)

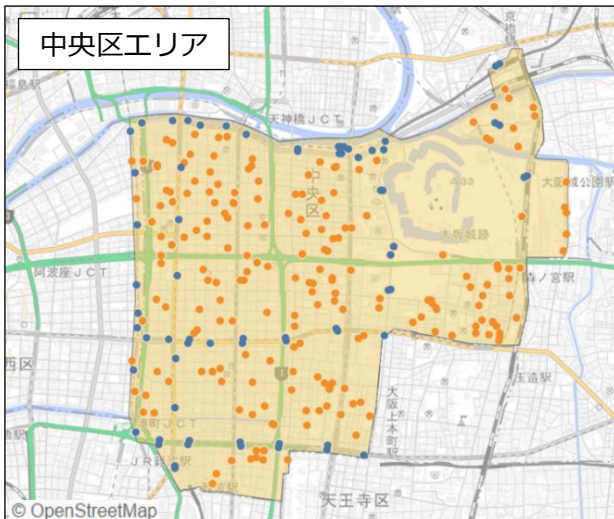
※300mメッシュ程度に設置

※乗降場所は現時点のイメージ
今後関係者と協議のうえ決定

提案概要（公表用）

提案日：令和7年3月18日

提案事業者	Osaka Metro Group
運行目的	地域を担う公共交通の持続可能性を高めるため、利用者ニーズに対応したよりきめ細かで効率的な交通手段を提供することで、地域の交通課題の解消や利便性を向上するとともに、新規需要を創出する
運行区域	中央区内全域（一部中央区外交通結節点含む）
運行態様	区域運行（道路運送法施行規則第3条の3）
運行形態	予約のある停留所間を効率的に運行
使用システム	A I オンデマンド配車システム
運行時間帯	9時～19時（検討中）
予約受付方法	スマートフォンアプリ、公式サイトまたは電話
使用車両・乗車定員	① EV ワンボックス車両（車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 8 名） ② ワンボックス車両（通常車両 運転席・助手席除き乗車定員 8 名） ③ 小型 EV バス車両（ノンステップ 車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 13～28 名程度） ④ ワンボックス車両（車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 5 名）
車両台数	最大 18 台（①～④）
運賃	大人：300 円 小児：150 円 幼児：同伴者 1 名につき 2 名まで無料 （身体障がい者手帳・療育手帳の「旅客鉄道株式会社旅客運賃減額欄」の記載（第 1 種または第 2 種）により、運賃を割引） （精神障がい者保健福祉手帳（1 級または 2 級・3 級（本人が小児の場合に限る））により運賃を割引） オンデマンドバス デジタル定期 大人 5,000 円/月・エリア、9,000 円/月・2 エリア共通 ※他のモビリティと連携した割引制度・サブスクの導入を検討
運送事業者（予定）	OM タクシー株式会社、他バス・タクシー事業者（未定）
社会実験開始希望時期	令和7年10月以降開始希望 実験期間は1年間
障がいのある方や車いす利用者に対する考え方	・運行エリアに可能な限り車いす対応車両を配置（1 台以上）し、車いすでのご乗車に対応 ・精神障がい者保健福祉手帳により運賃割引を適用



既存バス停留場



新規乗降場所



(バーチャル乗降場所)

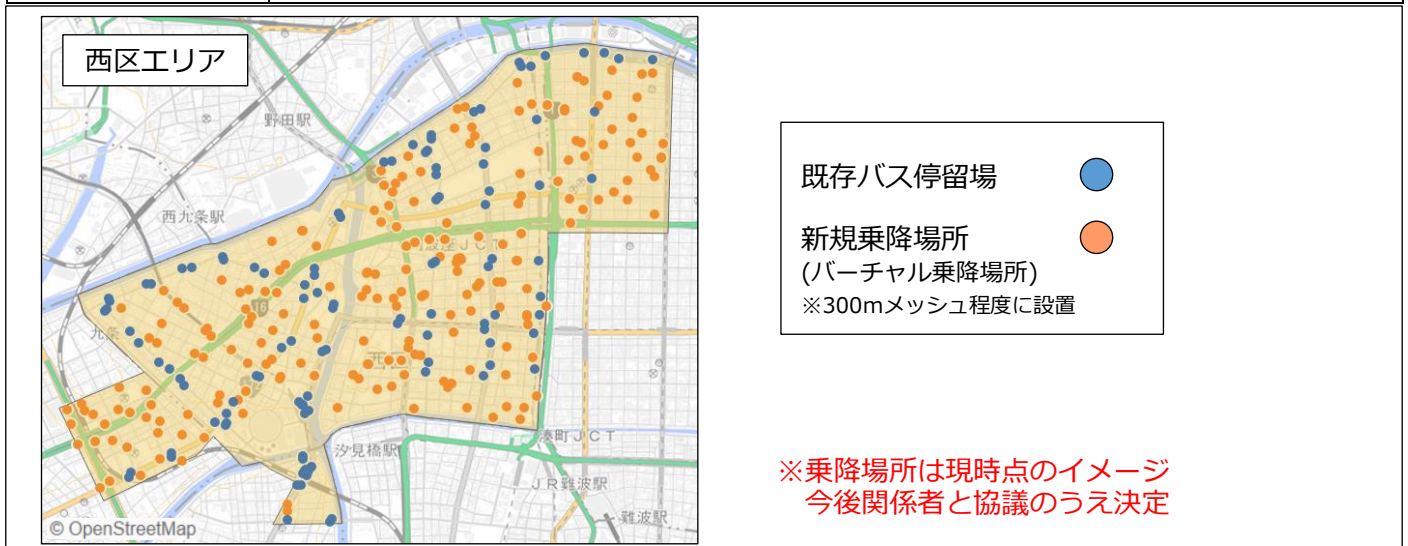
※300mメッシュ程度に設置

※乗降場所は現時点のイメージ
今後関係者と協議のうえ決定

提案概要（公表用）

提案日：令和7年3月18日

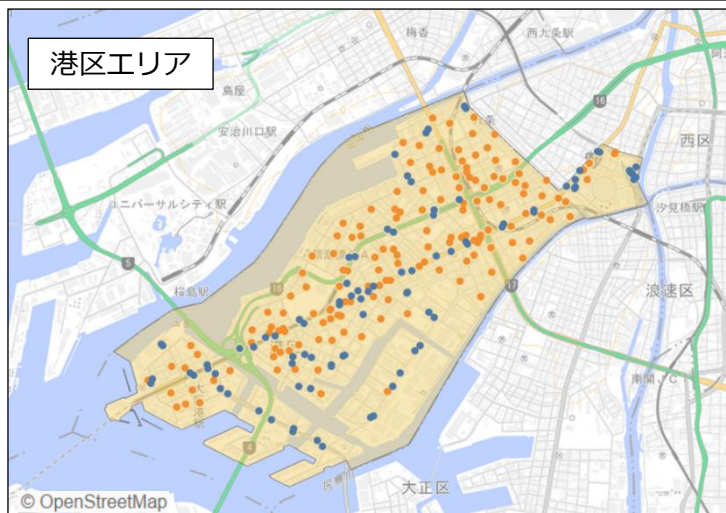
提案事業者	Osaka Metro Group
運行目的	地域を担う公共交通の持続可能性を高めるため、利用者ニーズに対応したよりきめ細かで効率的な交通手段を提供することで、地域の交通課題の解消や利便性を向上するとともに、新規需要を創出する
運行区域	西区内全域（一部西区外交通結節点含む）
運行態様	区域運行（道路運送法施行規則第3条の3）
運行形態	予約のある停留所間を効率的に運行
使用システム	AI オンデマンド配車システム
運行時間帯	9時～19時（検討中）
予約受付方法	スマートフォンアプリ、公式サイトまたは電話
使用車両・乗車定員	① EV ワンボックス車両（車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 8 名） ② ワンボックス車両（通常車両 運転席・助手席除き乗車定員 8 名） ③ 小型 EV バス車両（ノンステップ 車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 13～28 名程度） ④ ワンボックス車両（車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 5 名）
車両台数	最大 8 台（①～④）
運賃	大人：300 円 小児：150 円 幼児：同伴者 1 名につき 2 名まで無料 （身体障がい者手帳・療育手帳の「旅客鉄道株式会社旅客運賃減額欄」の記載（第 1 種または第 2 種）により、運賃を割引） （精神障がい者保健福祉手帳（1 級または 2 級・3 級（本人が小児の場合に限る））により運賃を割引） オンデマンドバス デジタル定期 大人 5,000 円/月・エリア、9,000 円/月・2 エリア共通 ※他のモビリティと連携した割引制度・サブスクの導入を検討
運送事業者（予定）	OM タクシー株式会社、他バス・タクシー事業者（未定）
社会実験開始希望時期	令和7年10月以降開始希望 実験期間は1年間
障がいのある方や車いす利用者に対する考え方	・運行エリアに可能な限り車いす対応車両を配置（1 台以上）し、車いすでのご乗車に対応 ・精神障がい者保健福祉手帳により運賃割引を適用



提案概要（公表用）

提案日：令和7年3月18日

提案事業者	Osaka Metro Group
運行目的	地域を担う公共交通の持続可能性を高めるため、利用者ニーズに対応したよりきめ細かで効率的な交通手段を提供することで、地域の交通課題の解消や利便性を向上するとともに、新規需要を創出する
運行区域	港区内全域（一部港区外交通結節点含む）
運行態様	区域運行（道路運送法施行規則第3条の3）
運行形態	予約のある停留所間を効率的に運行
使用システム	AI オンデマンド配車システム
運行時間帯	9時～19時（検討中）
予約受付方法	スマートフォンアプリ、公式サイトまたは電話
使用車両・乗車定員	① EV ワンボックス車両（車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 8 名） ② ワンボックス車両（通常車両 運転席・助手席除き乗車定員 8 名） ③ 小型 EV バス車両（ノンステップ 車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 13～28 名程度） ④ ワンボックス車両（車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 5 名）
車両台数	最大 6 台（①～④）
運賃	大人：210 円 小児：110 円 幼児：同伴者 1 名につき 2 名まで無料 （身体障がい者手帳・療育手帳の「旅客鉄道株式会社旅客運賃減額欄」の記載（第 1 種または第 2 種）により、運賃を割引） （精神障がい者保健福祉手帳（1 級または 2 級・3 級（本人が小児の場合に限る））により運賃を割引） オンデマンドバス デジタル定期 大人 5,000 円/月・エリア、9,000 円/月・2 エリア共通 ※他のモビリティと連携した割引制度・サブスクの導入を検討
運送事業者（予定）	OM タクシー株式会社、他バス・タクシー事業者（未定）
社会実験開始希望時期	令和7年10月以降開始希望 実験期間は1年間
障がいのある方や車いす利用者に対する考え方	・運行エリアに可能な限り車いす対応車両を配置（1 台以上）し、車いすでのご乗車に対応 ・精神障がい者保健福祉手帳により運賃割引を適用



既存バス停留場



新規乗降場所



(バーチャル乗降場所)

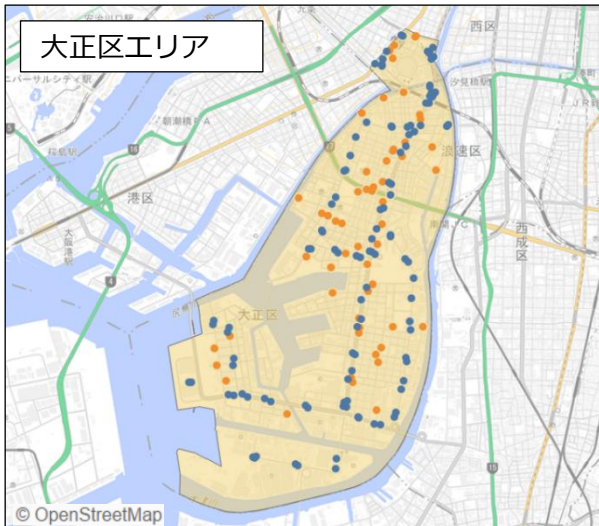
※300mメッシュ程度に設置

※乗降場所は現時点のイメージ
今後関係者と協議のうえ決定

AI オンデマンド交通の社会実験に関する民間事業提案
提案概要（公表用）

提案日：令和7年3月18日

提案事業者	Osaka Metro Group
運行目的	地域を担う公共交通の持続可能性を高めるため、利用者ニーズに対応したよりきめ細かで効率的な交通手段を提供することで、地域の交通課題の解消や利便性を向上するとともに、新規需要を創出する
運行区域	大正区内全域（一部大正区外交通結節点含む）
運行態様	区域運行（道路運送法施行規則第3条の3）
運行形態	予約のある停留所間を効率的に運行
使用システム	AI オンデマンド配車システム
運行時間帯	9時～19時（検討中）
予約受付方法	スマートフォンアプリ、公式サイトまたは電話
使用車両・乗車定員	① EV ワンボックス車両（車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 8 名） ② ワンボックス車両（通常車両 運転席・助手席除き乗車定員 8 名） ③ 小型 EV バス車両（ノンステップ 車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 13～28 名程度） ④ ワンボックス車両（車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 5 名）
車両台数	最大 5 台（①～④）
運賃	大人：210 円 小児：110 円 幼児：同伴者 1 名につき 2 名まで無料 （身体障がい者手帳・療育手帳の「旅客鉄道株式会社旅客運賃減額欄」の記載（第 1 種または第 2 種）により、運賃を割引） （精神障がい者保健福祉手帳（1 級または 2 級・3 級（本人が小児の場合に限る））により運賃を割引） オンデマンドバス デジタル定期 大人 5,000 円/月・エリア、9,000 円/月・2 エリア共通 ※他のモビリティと連携した割引制度・サブスクの導入を検討
運送事業者（予定）	OM タクシー株式会社、他バス・タクシー事業者（未定）
社会実験開始希望時期	令和 8 年 3 月以降開始希望 実験期間は 1 年間
障がいのある方や車いす利用者に対する考え方	・運行エリアに可能な限り車いす対応車両を配置（1 台以上）し、車いすでのご乗車に対応 ・精神障がい者保健福祉手帳により運賃割引を適用



既存バス停留場



新規乗降場所
(バーチャル乗降場所)



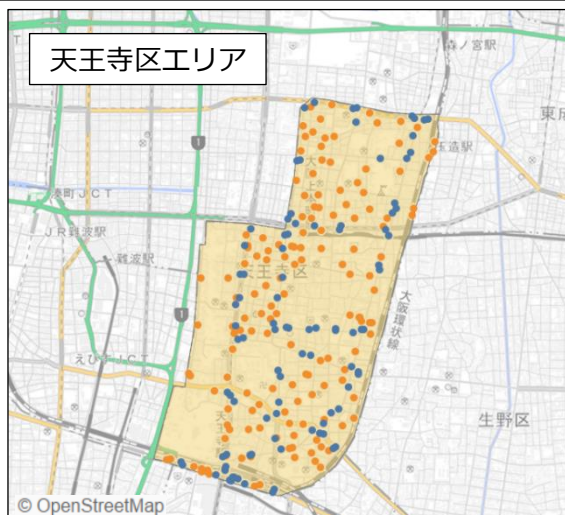
※300mメッシュ程度に設置

※乗降場所は現時点のイメージ
今後関係者と協議のうえ決定

提案概要（公表用）

提案日：令和7年3月18日

提案事業者	Osaka Metro Group
運行目的	地域を担う公共交通の持続可能性を高めるため、利用者ニーズに対応したよりきめ細かで効率的な交通手段を提供することで、地域の交通課題の解消や利便性を向上するとともに、新規需要を創出する
運行区域	天王寺区内全域
運行態様	区域運行（道路運送法施行規則第3条の3）
運行形態	予約のある停留所間を効率的に運行
使用システム	AI オンデマンド配車システム
運行時間帯	9時～19時（検討中）
予約受付方法	スマートフォンアプリ、公式サイトまたは電話
使用車両・乗車定員	① EV ワンボックス車両（車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 8 名） ② ワンボックス車両（通常車両 運転席・助手席除き乗車定員 8 名） ③ 小型 EV バス車両（ノンステップ 車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 13～28 名程度） ④ ワンボックス車両（車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 5 名）
車両台数	最大 5 台（①～④）
運賃	大人：300 円 小児：150 円 幼児：同伴者 1 名につき 2 名まで無料 （身体障がい者手帳・療育手帳の「旅客鉄道株式会社旅客運賃減額欄」の記載（第 1 種または第 2 種）により、運賃を割引 （精神障がい者保健福祉手帳（1 級または 2 級・3 級（本人が小児の場合に限る））により運賃を割引） オンデマンドバス デジタル定期 大人 5,000 円/月・エリア、9,000 円/月・2 エリア共通 ※他のモビリティと連携した割引制度・サブスクの導入を検討
運送事業者（予定）	OM タクシー株式会社、他バス・タクシー事業者（未定）
社会実験開始希望時期	令和7年10月以降開始希望 実験期間は1年間
障がいのある方や車いす利用者に対する考え方	・運行エリアに可能な限り車いす対応車両を配置（1 台以上）し、車いすでのご乗車に対応 ・精神障がい者保健福祉手帳により運賃割引を適用



既存バス停留場

新規乗降場所
(バーチャル乗降場所)

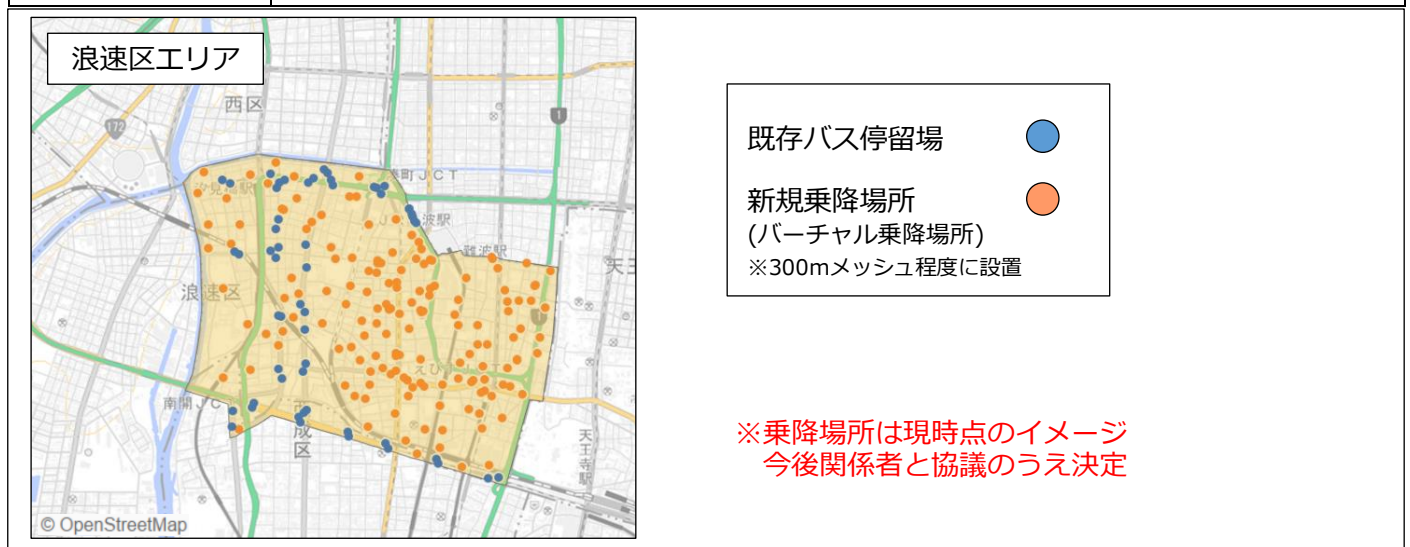
※300mメッシュ程度に設置

※乗降場所は現時点のイメージ
今後関係者と協議のうえ決定

提案概要（公表用）

提案日：令和7年3月18日

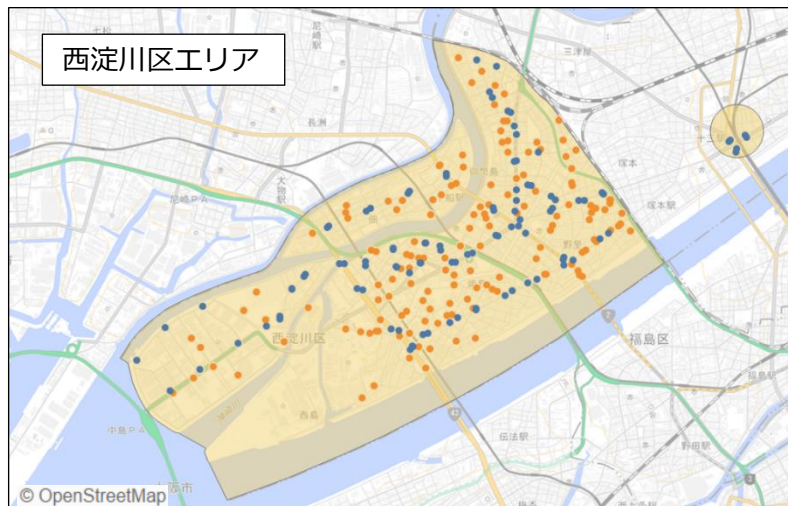
提案事業者	Osaka Metro Group
運行目的	地域を担う公共交通の持続可能性を高めるため、利用者ニーズに対応したよりきめ細かで効率的な交通手段を提供することで、地域の交通課題の解消や利便性を向上するとともに、新規需要を創出する
運行区域	浪速区内全域（一部浪速区外含む）
運行態様	区域運行（道路運送法施行規則第3条の3）
運行形態	予約のある停留所間を効率的に運行
使用システム	AI オンデマンド配車システム
運行時間帯	9時～19時（検討中）
予約受付方法	スマートフォンアプリ、公式サイトまたは電話
使用車両・乗車定員	① EV ワンボックス車両（車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 8 名） ② ワンボックス車両（通常車両 運転席・助手席除き乗車定員 8 名） ③ 小型 EV バス車両（ノンステップ 車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 13～28 名程度） ④ ワンボックス車両（車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 5 名）
車両台数	最大 5 台（①～④）
運賃	大人：300 円 小児：150 円 幼児：同伴者 1 名につき 2 名まで無料 （身体障がい者手帳・療育手帳の「旅客鉄道株式会社旅客運賃減額欄」の記載（第 1 種または第 2 種）により、運賃を割引） （精神障がい者保健福祉手帳（1 級または 2 級・3 級（本人が小児の場合に限る））により運賃を割引） オンデマンドバス デジタル定期 大人 5,000 円/月・エリア、9,000 円/月・2 エリア共通 ※他のモビリティと連携した割引制度・サブスクの導入を検討
運送事業者（予定）	OM タクシー株式会社、他バス・タクシー事業者（未定）
社会実験開始希望時期	令和7年10月以降開始希望 実験期間は1年間
障がいのある方や車いす利用者に対する考え方	・運行エリアに可能な限り車いす対応車両を配置（1 台以上）し、車いすでのご乗車に対応 ・精神障がい者保健福祉手帳により運賃割引を適用



提案概要（公表用）

提案日：令和7年3月18日

提案事業者	Osaka Metro Group
運行目的	地域を担う公共交通の持続可能性を高めるため、利用者ニーズに対応したよりきめ細かで効率的な交通手段を提供することで、地域の交通課題の解消や利便性を向上するとともに、新規需要を創出する
運行区域	西淀川区全域（一部西淀川区外交通結節点含む）
運行態様	区域運行（道路運送法施行規則第3条の3）
運行形態	予約のある停留所間を効率的に運行
使用システム	AI オンデマンド配車システム
運行時間帯	9時～19時（検討中）
予約受付方法	スマートフォンアプリ、公式サイトまたは電話
使用車両・乗車定員	① EV ワンボックス車両（車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 8 名） ② ワンボックス車両（通常車両 運転席・助手席除き乗車定員 8 名） ③ 小型 EV バス車両（ノンステップ 車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 13～28 名程度） ④ ワンボックス車両（車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 5 名）
車両台数	最大 8 台（①～④）
運賃	大人：210 円 小児：110 円 幼児：同伴者 1 名につき 2 名まで無料 （身体障がい者手帳・療育手帳の「旅客鉄道株式会社旅客運賃減額欄」の記載（第 1 種または第 2 種）により、運賃を割引） （精神障がい者保健福祉手帳（1 級または 2 級・3 級（本人が小児の場合に限る））により運賃を割引） オンデマンドバス デジタル定期 大人 5,000 円/月・エリア、9,000 円/月・2 エリア共通 ※他のモビリティと連携した割引制度・サブスクの導入を検討
運送事業者（予定）	OM タクシー株式会社、他バス・タクシー事業者（未定）
社会実験開始希望時期	令和 8 年 3 月以降開始希望 実験期間は 1 年間
障がいのある方や車いす利用者に対する考え方	・運行エリアに可能な限り車いす対応車両を配置（1 台以上）し、車いすでのご乗車に対応 ・精神障がい者保健福祉手帳により運賃割引を適用



既存バス停留場

新規乗降場所
(バーチャル乗降場所)

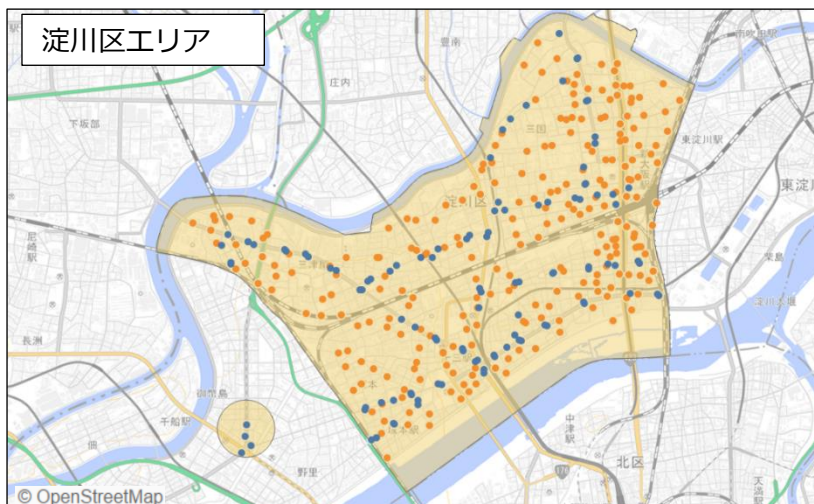
※300mメッシュ程度に設置

※乗降場所は現時点のイメージ
今後関係者と協議のうえ決定

提案概要（公表用）

提案日：令和7年3月18日

提案事業者	Osaka Metro Group
運行目的	地域を担う公共交通の持続可能性を高めるため、利用者ニーズに対応したよりきめ細かで効率的な交通手段を提供することで、地域の交通課題の解消や利便性を向上するとともに、新規需要を創出する
運行区域	淀川区内全域（一部淀川区外交通結節点含む）
運行態様	区域運行（道路運送法施行規則第3条の3）
運行形態	予約のある停留所間を効率的に運行
使用システム	AI オンデマンド配車システム
運行時間帯	9時～19時（検討中）
予約受付方法	スマートフォンアプリ、公式サイトまたは電話
使用車両・乗車定員	① EV ワンボックス車両（車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 8 名） ② ワンボックス車両（通常車両 運転席・助手席除き乗車定員 8 名） ③ 小型 EV バス車両（ノンステップ 車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 13～28 名程度） ④ ワンボックス車両（車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 5 名）
車両台数	最大 17 台（①～④）
運賃	大人：210 円 小児：110 円 幼児：同伴者 1 名につき 2 名まで無料 （身体障がい者手帳・療育手帳の「旅客鉄道株式会社旅客運賃減額欄」の記載（第 1 種または第 2 種）により、運賃を割引） （精神障がい者保健福祉手帳（1 級または 2 級・3 級（本人が小児の場合に限る））により運賃を割引） オンデマンドバス デジタル定期 大人 5,000 円/月・エリア、9,000 円/月・2 エリア共通 ※他のモビリティと連携した割引制度・サブスクの導入を検討
運送事業者（予定）	OM タクシー株式会社、他バス・タクシー事業者（未定）
社会実験開始希望時期	令和 8 年 3 月以降開始希望 実験期間は 1 年間
障がいのある方や車いす利用者に対する考え方	・運行エリアに可能な限り車いす対応車両を配置（1 台以上）し、車いすでのご乗車に対応 ・精神障がい者保健福祉手帳により運賃割引を適用



既存バス停留場



新規乗降場所



(バーチャル乗降場所)

※300mメッシュ程度に設置

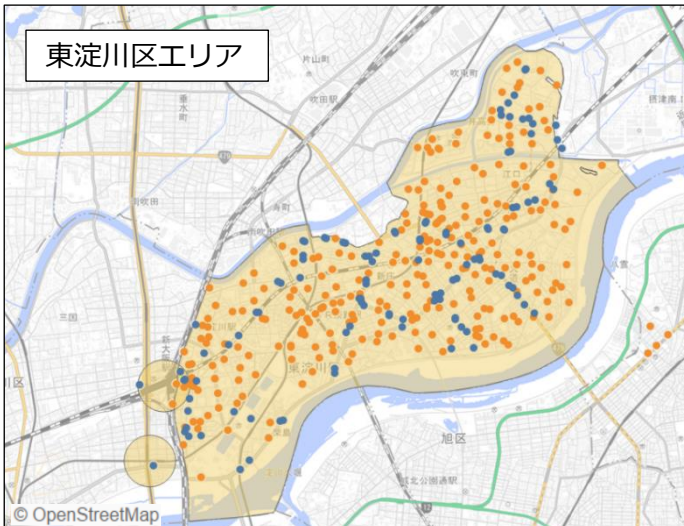
※乗降場所は現時点のイメージ
今後関係者と協議のうえ決定

提案概要（公表用）

提案日：令和7年3月18日

提案事業者	Osaka Metro Group
運行目的	地域を担う公共交通の持続可能性を高めるため、利用者ニーズに対応したよりきめ細かで効率的な交通手段を提供することで、地域の交通課題の解消や利便性を向上するとともに、新規需要を創出する
運行区域	東淀川区全域（一部東淀川区外交通結節点含む）
運行態様	区域運行（道路運送法施行規則第3条の3）
運行形態	予約のある停留所間を効率的に運行
使用システム	A I オンデマンド配車システム
運行時間帯	9時～19時（検討中）
予約受付方法	スマートフォンアプリ、公式サイトまたは電話
使用車両・乗車定員	① EV ワンボックス車両（車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 8 名） ② ワンボックス車両（通常車両 運転席・助手席除き乗車定員 8 名） ③ 小型 EV バス車両（ノンステップ 車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 13～28 名程度） ④ ワンボックス車両（車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 5 名）
車両台数	最大 14 台（①～④）
運賃	大人：210 円 小児：110 円 幼児：同伴者 1 名につき 2 名まで無料 （身体障がい者手帳・療育手帳の「旅客鉄道株式会社旅客運賃減額欄」の記載（第 1 種または第 2 種）により、運賃を割引） （精神障がい者保健福祉手帳（1 級または 2 級・3 級（本人が小児の場合に限る））により運賃を割引） オンデマンドバス デジタル定期 大人 5,000 円/月・エリア、9,000 円/月・2 エリア共通 ※他のモビリティと連携した割引制度・サブスクの導入を検討
運送事業者（予定）	OM タクシー株式会社、他バス・タクシー事業者（未定）
社会実験開始希望時期	令和 8 年 3 月以降開始希望 実験期間は 1 年間
障がいのある方や車いす利用者に対する考え方	・運行エリアに可能な限り車いす対応車両を配置（1 台以上）し、車いすでのご乗車に対応 ・精神障がい者保健福祉手帳により運賃割引を適用

東淀川区エリア



既存バス停留場



新規乗降場所



(バーチャル乗降場所)

※300mメッシュ程度に設置

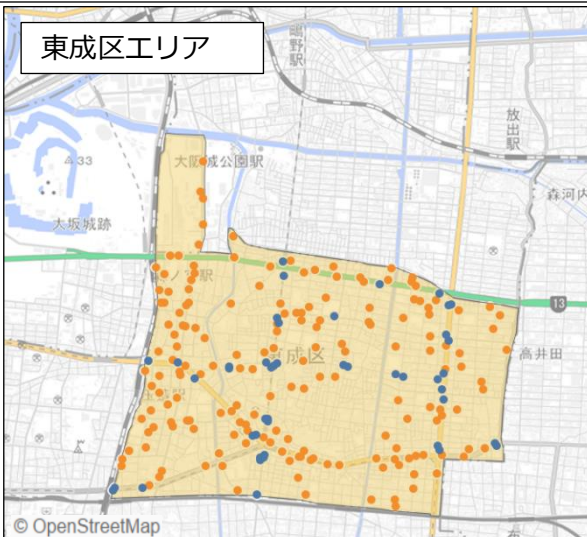
※乗降場所は現時点のイメージ
今後関係者と協議のうえ決定

提案概要（公表用）

提案日：令和7年3月18日

提案事業者	Osaka Metro Group
運行目的	地域を担う公共交通の持続可能性を高めるため、利用者ニーズに対応したよりきめ細かで効率的な交通手段を提供することで、地域の交通課題の解消や利便性を向上するとともに、新規需要を創出する
運行区域	東成区内全域（一部東成区外交通結節点含む）
運行態様	区域運行（道路運送法施行規則第3条の3）
運行形態	予約のある停留所間を効率的に運行
使用システム	A I オンデマンド配車システム
運行時間帯	9時～19時（検討中）
予約受付方法	スマートフォンアプリ、公式サイトまたは電話
使用車両・乗車定員	① EV ワンボックス車両（車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 8 名） ② ワンボックス車両（通常車両 運転席・助手席除き乗車定員 8 名） ③ 小型 EV バス車両（ノンステップ 車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 13～28 名程度） ④ ワンボックス車両（車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 5 名）
車両台数	最大 5 台（①～④）
運賃	大人：210 円 小児：110 円 幼児：同伴者 1 名につき 2 名まで無料 （身体障がい者手帳・療育手帳の「旅客鉄道株式会社旅客運賃減額欄」の記載（第 1 種または第 2 種）により、運賃を割引） （精神障がい者保健福祉手帳（1 級または 2 級・3 級（本人が小児の場合に限る））により運賃を割引） オンデマンドバス デジタル定期 大人 5,000 円/月・エリア、9,000 円/月・2 エリア共通 ※他のモビリティと連携した割引制度・サブスクの導入を検討
運送事業者（予定）	OM タクシー株式会社、他バス・タクシー事業者（未定）
社会実験開始希望時期	令和7年10月以降開始希望 実験期間は1年間
障がいのある方や車いす利用者に対する考え方	・運行エリアに可能な限り車いす対応車両を配置（1 台以上）し、車いすでのご乗車に対応 ・精神障がい者保健福祉手帳により運賃割引を適用

東成区エリア



既存バス停留場

新規乗降場所
(バーチャル乗降場所)

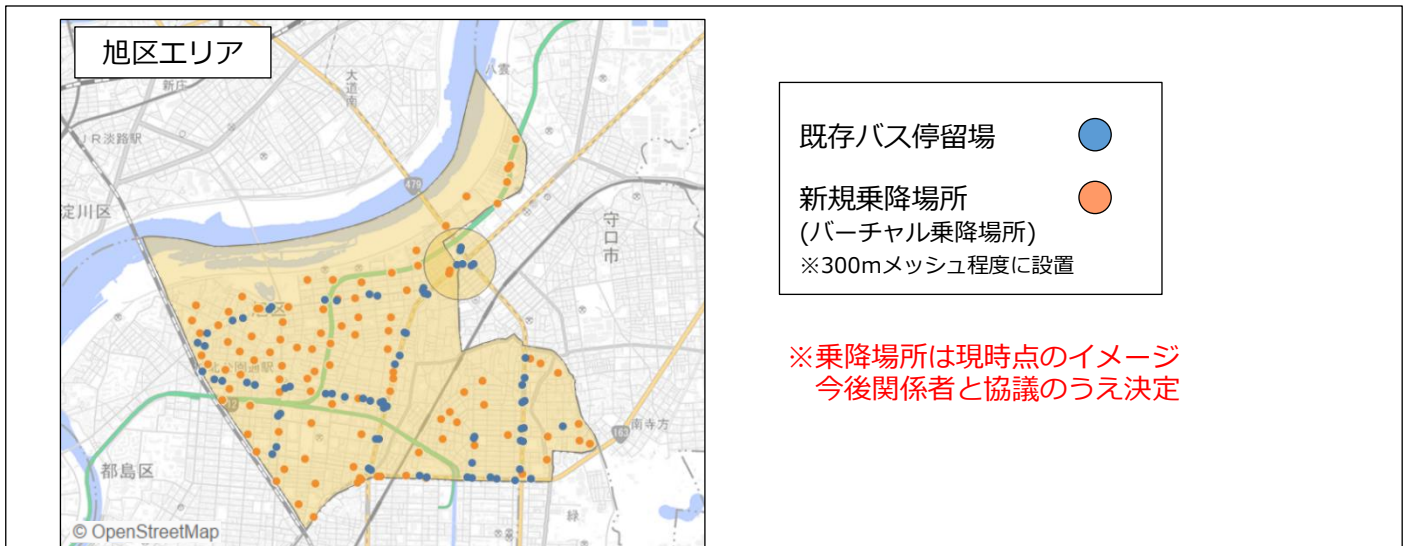
※300mメッシュ程度に設置

※乗降場所は現時点のイメージ
今後関係者と協議のうえ決定

AI オンデマンド交通の社会実験に関する民間事業提案
提案概要（公表用）

提案日：令和7年3月18日

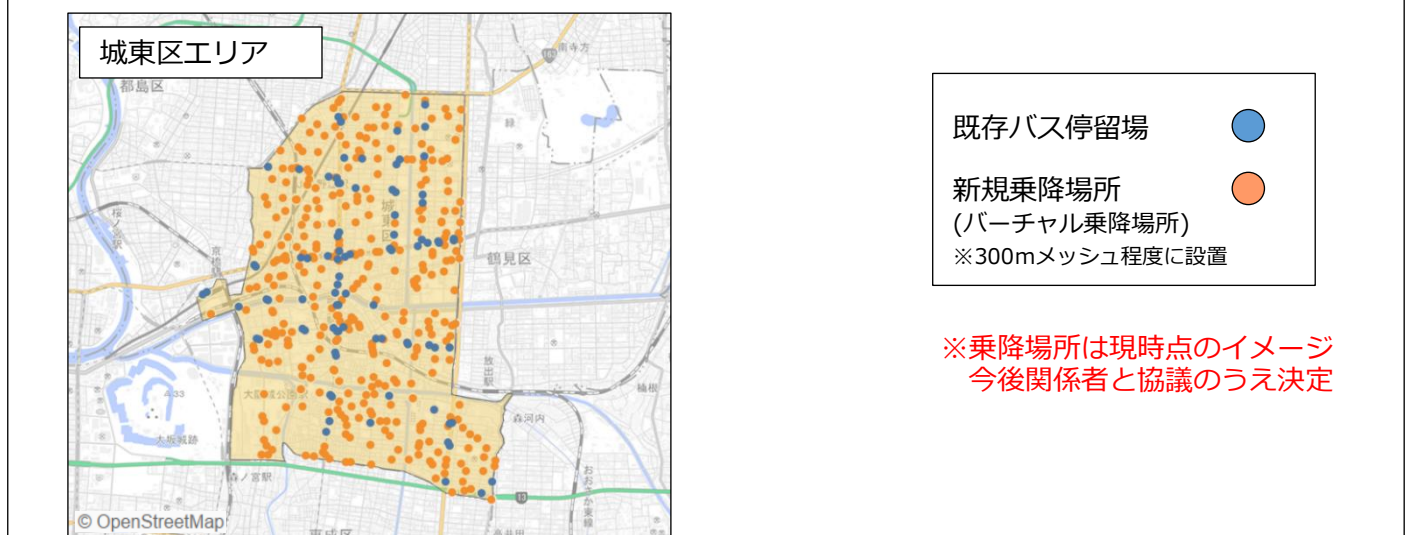
提案事業者	Osaka Metro Group
運行目的	地域を担う公共交通の持続可能性を高めるため、利用者ニーズに対応したよりきめ細かで効率的な交通手段を提供することで、地域の交通課題の解消や利便性を向上するとともに、新規需要を創出する
運行区域	旭区内全域（一部旭区外交通結節点含む）
運行態様	区域運行（道路運送法施行規則第3条の3）
運行形態	予約のある停留所間を効率的に運行
使用システム	AI オンデマンド配車システム
運行時間帯	9時～19時（検討中）
予約受付方法	スマートフォンアプリ、公式サイトまたは電話
使用車両・乗車定員	① EV ワンボックス車両（車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 8 名） ② ワンボックス車両（通常車両 運転席・助手席除き乗車定員 8 名） ③ 小型 EV バス車両（ノンステップ 車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 13～28 名程度） ④ ワンボックス車両（車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 5 名）
車両台数	最大 5 台（①～④）
運賃	大人：210 円 小児：110 円 幼児：同伴者 1 名につき 2 名まで無料 （身体障がい者手帳・療育手帳の「旅客鉄道株式会社旅客運賃減額欄」の記載（第 1 種または第 2 種）により、運賃を割引） （精神障がい者保健福祉手帳（1 級または 2 級・3 級（本人が小児の場合に限る））により運賃を割引） オンデマンドバス デジタル定期 大人 5,000 円/月・エリア、9,000 円/月・2 エリア共通 ※他のモビリティと連携した割引制度・サブスクの導入を検討
運送事業者（予定）	OM タクシー株式会社、他バス・タクシー事業者（未定）
社会実験開始希望時期	令和7年10月以降開始希望 実験期間は1年間
障がいのある方や車いす利用者に対する考え方	・運行エリアに可能な限り車いす対応車両を配置（1 台以上）し、車いすでのご乗車に対応 ・精神障がい者保健福祉手帳により運賃割引を適用



提案概要（公表用）

提案日：令和7年3月18日

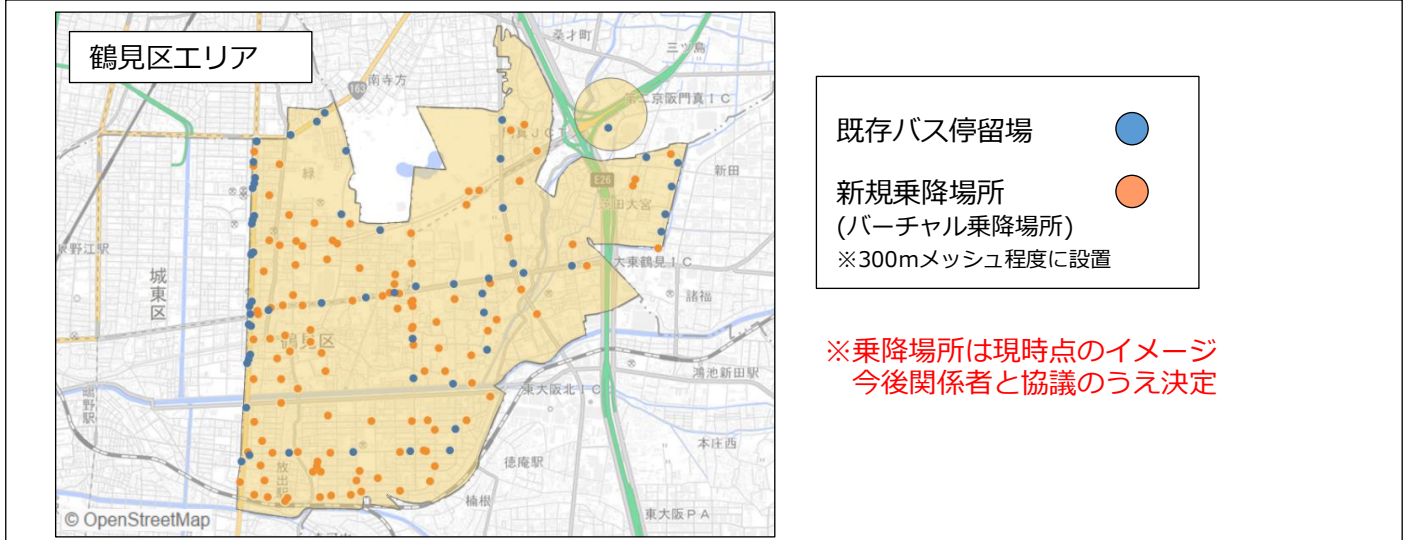
提案事業者	Osaka Metro Group
運行目的	地域を担う公共交通の持続可能性を高めるため、利用者ニーズに対応したよりきめ細かで効率的な交通手段を提供することで、地域の交通課題の解消や利便性を向上するとともに、新規需要を創出する
運行区域	城東区内全域（一部城東区外交通結節点含む）
運行態様	区域運行（道路運送法施行規則第3条の3）
運行形態	予約のある停留所間を効率的に運行
使用システム	A I オンデマンド配車システム
運行時間帯	9時～19時（検討中）
予約受付方法	スマートフォンアプリ、公式サイトまたは電話
使用車両・乗車定員	① EV ワンボックス車両（車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 8 名） ② ワンボックス車両（通常車両 運転席・助手席除き乗車定員 8 名） ③ 小型 EV バス車両（ノンステップ 車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 13～28 名程度） ④ ワンボックス車両（車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 5 名）
車両台数	最大 9 台（①～④）
運賃	大人：210 円 小児：110 円 幼児：同伴者 1 名につき 2 名まで無料 （身体障がい者手帳・療育手帳の「旅客鉄道株式会社旅客運賃減額欄」の記載（第 1 種または第 2 種）により、運賃を割引） （精神障がい者保健福祉手帳（1 級または 2 級・3 級（本人が小児の場合に限る））により運賃を割引） オンデマンドバス デジタル定期 大人 5,000 円/月・エリア、9,000 円/月・2 エリア共通 ※他のモビリティと連携した割引制度・サブスクの導入を検討
運送事業者（予定）	OM タクシー株式会社、他バス・タクシー事業者（未定）
社会実験開始希望時期	令和 7 年 10 月以降開始希望 実験期間は 1 年間
障がいのある方や車いす利用者に対する考え方	・運行エリアに可能な限り車いす対応車両を配置（1 台以上）し、車いすでのご乗車に対応 ・精神障がい者保健福祉手帳により運賃割引を適用



提案概要（公表用）

提案日：令和7年3月18日

提案事業者	Osaka Metro Group
運行目的	地域を担う公共交通の持続可能性を高めるため、利用者ニーズに対応したよりきめ細かで効率的な交通手段を提供することで、地域の交通課題の解消や利便性を向上するとともに、新規需要を創出する
運行区域	鶴見区内全域（一部鶴見区外交通結節点含む）
運行態様	区域運行（道路運送法施行規則第3条の3）
運行形態	予約のある停留所間を効率的に運行
使用システム	AI オンデマンド配車システム
運行時間帯	9時～19時（検討中）
予約受付方法	スマートフォンアプリ、公式サイトまたは電話
使用車両・乗車定員	① EV ワンボックス車両（車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 8 名） ② ワンボックス車両（通常車両 運転席・助手席除き乗車定員 8 名） ③ 小型 EV バス車両（ノンステップ 車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 13～28 名程度） ④ ワンボックス車両（車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 5 名）
車両台数	最大 6 台（①～④）
運賃	大人：210 円 小児：110 円 幼児：同伴者 1 名につき 2 名まで無料 （身体障がい者手帳・療育手帳の「旅客鉄道株式会社旅客運賃減額欄」の記載（第 1 種または第 2 種）により、運賃を割引） （精神障がい者保健福祉手帳（1 級または 2 級・3 級（本人が小児の場合に限る））により運賃を割引） オンデマンドバス デジタル定期 大人 5,000 円/月・エリア、9,000 円/月・2 エリア共通 ※他のモビリティと連携した割引制度・サブスクの導入を検討
運送事業者（予定）	OM タクシー株式会社、他バス・タクシー事業者（未定）
社会実験開始希望時期	令和7年10月以降開始希望 実験期間は1年間
障がいのある方や車いす利用者に対する考え方	・運行エリアに可能な限り車いす対応車両を配置（1 台以上）し、車いすでのご乗車に対応 ・精神障がい者保健福祉手帳により運賃割引を適用

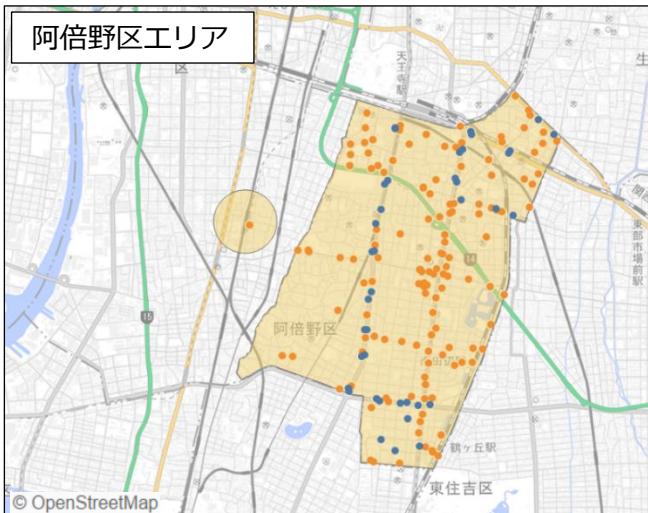


提案概要（公表用）

提案日：令和7年3月18日

提案事業者	Osaka Metro Group
運行目的	地域を担う公共交通の持続可能性を高めるため、利用者ニーズに対応したよりきめ細かで効率的な交通手段を提供することで、地域の交通課題の解消や利便性を向上するとともに、新規需要を創出する
運行区域	阿倍野区内全域（一部阿倍野区外交通結節点含む）
運行態様	区域運行（道路運送法施行規則第3条の3）
運行形態	予約のある停留所間を効率的に運行
使用システム	AI オンデマンド配車システム
運行時間帯	9時～19時（検討中）
予約受付方法	スマートフォンアプリ、公式サイトまたは電話
使用車両・乗車定員	① EV ワンボックス車両（車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 8 名） ② ワンボックス車両（通常車両 運転席・助手席除き乗車定員 8 名） ③ 小型 EV バス車両（ノンステップ 車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 13～28 名程度） ④ ワンボックス車両（車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 5 名）
車両台数	最大 7 台（①～④）
運賃	大人：210 円 小児：110 円 幼児：同伴者 1 名につき 2 名まで無料 （身体障がい者手帳・療育手帳の「旅客鉄道株式会社旅客運賃減額欄」の記載（第 1 種または第 2 種）により、運賃を割引） （精神障がい者保健福祉手帳（1 級または 2 級・3 級（本人が小児の場合に限る））により運賃を割引） オンデマンドバス デジタル定期 大人 5,000 円/月・エリア、9,000 円/月・2 エリア共通 ※他のモビリティと連携した割引制度・サブスクの導入を検討
運送事業者（予定）	OM タクシー株式会社、他バス・タクシー事業者（未定）
社会実験開始希望時期	令和 7 年 10 月以降開始希望 実験期間は 1 年間
障がいのある方や車いす利用者に対する考え方	・運行エリアに可能な限り車いす対応車両を配置（1 台以上）し、車いすでのご乗車に対応 ・精神障がい者保健福祉手帳により運賃割引を適用

阿倍野区エリア



既存バス停留場

新規乗降場所
(バーチャル乗降場所)

※300mメッシュ程度に設置

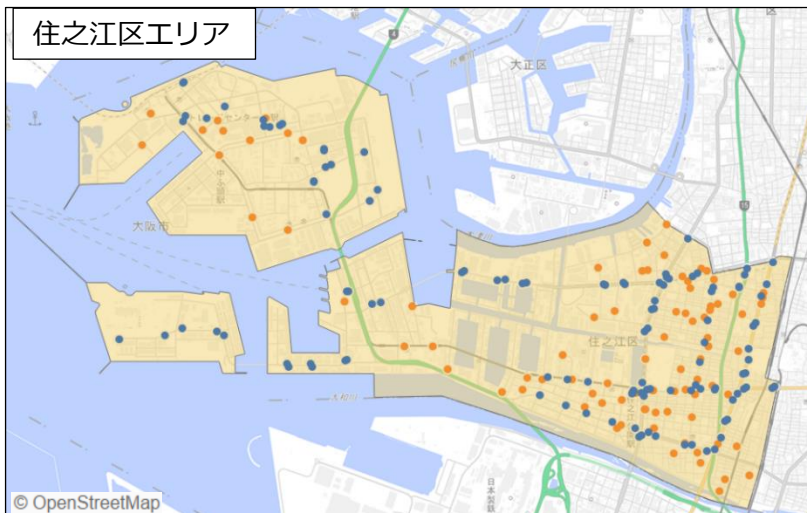
※乗降場所は現時点のイメージ
今後関係者と協議のうえ決定

提案概要（公表用）

提案日：令和7年3月18日

提案事業者	Osaka Metro Group
運行目的	地域を担う公共交通の持続可能性を高めるため、利用者ニーズに対応したよりきめ細かで効率的な交通手段を提供することで、地域の交通課題の解消や利便性を向上するとともに、新規需要を創出する
運行区域	住之江区内全域
運行態様	区域運行（道路運送法施行規則第3条の3）
運行形態	予約のある停留所間を効率的に運行
使用システム	AI オンデマンド配車システム
運行時間帯	9時～19時（検討中）
予約受付方法	スマートフォンアプリ、公式サイトまたは電話
使用車両・乗車定員	① EV ワンボックス車両（車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員8名） ② ワンボックス車両（通常車両 運転席・助手席除き乗車定員8名） ③ 小型EVバス車両（ノンステップ車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員13～28名程度） ④ ワンボックス車両（車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員5名）
車両台数	最大11台（①～④）
運賃	大人：210円 小児：110円 幼児：同伴者1名につき2名まで無料 （身体障がい者手帳・療育手帳の「旅客鉄道株式会社旅客運賃減額欄」の記載（第1種または第2種）により、運賃を割引） （精神障がい者保健福祉手帳（1級または2級・3級（本人が小児の場合に限る））により運賃を割引） オンデマンドバス デジタル定期 大人5,000円/月・エリア、9,000円/月・2エリア共通 ※他のモビリティと連携した割引制度・サブスクの導入を検討
運送事業者（予定）	OM タクシー株式会社、他バス・タクシー事業者（未定）
社会実験開始希望時期	令和8年3月以降開始希望 実験期間は1年間
障がいのある方や車いす利用者に対する考え方	・運行エリアに可能な限り車いす対応車両を配置（1台以上）し、車いすでのご乗車に対応 ・精神障がい者保健福祉手帳により運賃割引を適用

住之江区エリア



既存バス停留場



新規乗降場所



(バーチャル乗降場所)

※300mメッシュ程度に設置

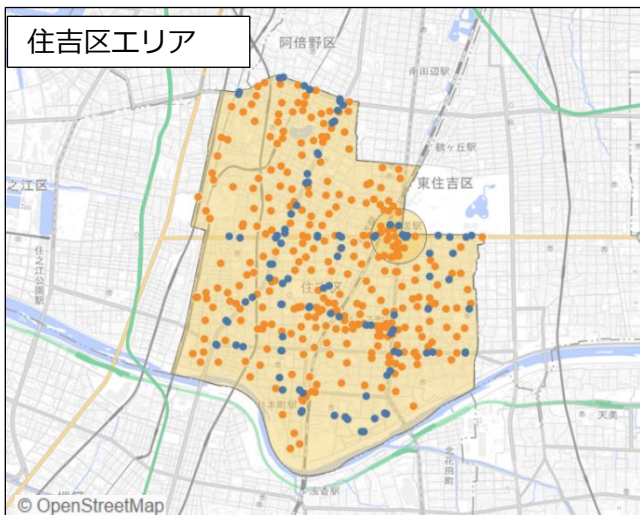
※乗降場所は現時点のイメージ
今後関係者と協議のうえ決定

提案概要（公表用）

提案日：令和7年3月18日

提案事業者	Osaka Metro Group
運行目的	地域を担う公共交通の持続可能性を高めるため、利用者ニーズに対応したよりきめ細かで効率的な交通手段を提供することで、地域の交通課題の解消や利便性を向上するとともに、新規需要を創出する
運行区域	住吉区内全域（一部住吉区外交通結節点含む）
運行態様	区域運行（道路運送法施行規則第3条の3）
運行形態	予約のある停留所間を効率的に運行
使用システム	AI オンデマンド配車システム
運行時間帯	9時～19時（検討中）
予約受付方法	スマートフォンアプリ、公式サイトまたは電話
使用車両・乗車定員	① EV ワンボックス車両（車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 8 名） ② ワンボックス車両（通常車両 運転席・助手席除き乗車定員 8 名） ③ 小型 EV バス車両（ノンステップ 車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 13～28 名程度） ④ ワンボックス車両（車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 5 名）
車両台数	最大 9 台（①～④）
運賃	大人：210 円 小児：110 円 幼児：同伴者 1 名につき 2 名まで無料 （身体障がい者手帳・療育手帳の「旅客鉄道株式会社旅客運賃減額欄」の記載（第 1 種または第 2 種）により、運賃を割引） （精神障がい者保健福祉手帳（1 級または 2 級・3 級（本人が小児の場合に限る））により運賃を割引） オンデマンドバス デジタル定期 大人 5,000 円/月・エリア、9,000 円/月・2 エリア共通 ※他のモビリティと連携した割引制度・サブスクの導入を検討
運送事業者（予定）	OM タクシー株式会社、他バス・タクシー事業者（未定）
社会実験開始希望時期	令和7年10月以降開始希望 実験期間は1年間
障がいのある方や車いす利用者に対する考え方	・運行エリアに可能な限り車いす対応車両を配置（1 台以上）し、車いすでのご乗車に対応 ・精神障がい者保健福祉手帳により運賃割引を適用

住吉区エリア

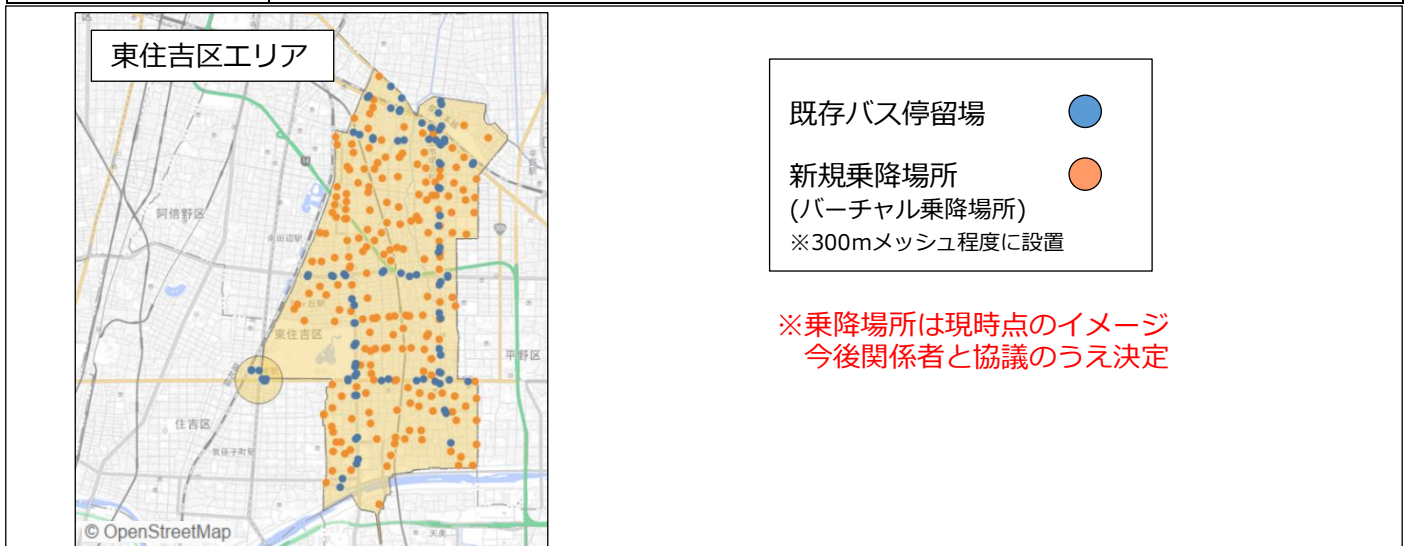


既存バス停留場

新規乗降場所
(バーチャル乗降場所)
※300mメッシュ程度に設置※乗降場所は現時点のイメージ
今後関係者と協議のうえ決定

提案概要（公表用）

提 案 事 業 者	Osaka Metro Group
運 行 目 的	地域を担う公共交通の持続可能性を高めるため、利用者ニーズに対応したよりきめ細かで効率的な交通手段を提供することで、地域の交通課題の解消や利便性を向上するとともに、新規需要を創出する
運 行 区 域	東住吉区内全域（一部東住吉区外交通結節点含む）
運 行 態 様	区域運行（道路運送法施行規則第 3 条の 3）
運 行 形 態	予約のある停留所間を効率的に運行
使 用 シ ス テ ム	A I オンデマンド配車システム
運 行 時 間 帯	9 時～19 時（検討中）
予 約 受 付 方 法	スマートフォンアプリ、公式サイトまたは電話
使用車両・乗車定員	① EV ワンボックス車両（車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 8 名） ② ワンボックス車両（通常車両 運転席・助手席除き乗車定員 8 名） ③ 小型 EV バス車両（ハステッパ 車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 13～28 名程度） ④ ワンボックス車両（車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 5 名）
車 両 台 数	最大 7 台（①～④）
運 賃	大人：210 円 小児：110 円 幼児：同伴者 1 名につき 2 名まで無料 （身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳の「旅客鉄道株式会社旅客運賃減額欄」の記載（第 1 種または第 2 種）により、運賃を割引） （精神障がい者保健福祉手帳（1 級または 2 級・3 級（本人が小児の場合に限る））により運賃を割引） オンデマンドバス デジタル定期 大人 5,000 円/月・エリア、9,000 円/月・2 エリア共通 ※他のモビリティと連携した割引制度・サブスクの導入を検討
運 送 事 業 者 （ 予 定 ）	OM タクシー株式会社、他バス・タクシー事業者（未定）
社 会 実 験 開 始 希 望 時 期	令和 7 年 10 月以降開始希望 実験期間は 1 年間
障がいのある方や 車いす利用者に 対しての考え方	・運行エリアに可能な限り車いす対応車両を配置（1 台以上）し、車いすでのご乗車に対応 ・精神障がい者保健福祉手帳により運賃割引を適用



提案概要（公表用）

提案日：令和7年 3月18日

提案事業者	Osaka Metro Group
運行目的	地域を担う公共交通の持続可能性を高めるため、利用者ニーズに対応したよりきめ細かで効率的な交通手段を提供することで、地域の交通課題の解消や利便性を向上するとともに、新規需要を創出する
運行区域	西成区内全域（一部西成区外交通結節点含む）
運行態様	区域運行（道路運送法施行規則第3条の3）
運行形態	予約のある停留所間を効率的に運行
使用システム	AI オンデマンド配車システム
運行時間帯	9時～19時（検討中）
予約受付方法	スマートフォンアプリ、公式サイトまたは電話
使用車両・乗車定員	① EV ワンボックス車両（車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 8 名） ② ワンボックス車両（通常車両 運転席・助手席除き乗車定員 8 名） ③ 小型 EV バス車両（ノンステップ 車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 13～28 名程度） ④ ワンボックス車両（車いす対応車両 運転席・助手席除き乗車定員 5 名）
車両台数	最大 9 台（①～④）
運賃	大人：210 円 小児：110 円 幼児：同伴者 1 名につき 2 名まで無料 （身体障がい者手帳・療育手帳の「旅客鉄道株式会社旅客運賃減額欄」の記載（第 1 種または第 2 種）により、運賃を割引） （精神障がい者保健福祉手帳（1 級または 2 級・3 級（本人が小児の場合に限る））により運賃を割引） オンデマンドバス デジタル定期 大人 5,000 円/月・エリア、9,000 円/月・2 エリア共通 ※他のモビリティと連携した割引制度・サブスクの導入を検討
運送事業者（予定）	OM タクシー株式会社、他バス・タクシー事業者（未定）
社会実験開始希望時期	令和 8 年 3 月以降開始希望 実験期間は 1 年間
障がいのある方や車いす利用者に対する考え方	・運行エリアに可能な限り車いす対応車両を配置（1 台以上）し、車いすでのご乗車に対応 ・精神障がい者保健福祉手帳により運賃割引を適用

